

### II-3. 研究者のための開拓精神養成セミナー

#### 概要

「研究者のための開拓精神養成セミナー」は博士課程学生及び若手研究者を対象にした1日研修です。開拓姿勢や開拓能力は、創造性、革新性、そしてビジネス感覚を向上させて、研究者が研究する上で役立ち、高等教育機関での研究や教職、あるいはビジネス、産業界や公共部門における将来のどのようなキャリアにも役立つものです。開拓精神は研究者がどのようなキャリアの道を選んでも、独自の創造性を発揮し、職場に変化をもたらし、他者より抜きん出ることができるようなエンployアビリティ（雇用されうる能力）の基礎となります。VitaeのRDF開拓精神レンズを利用して、研究者が自分にとって重要な能力に焦点を絞れるようお手伝いします。

#### 参加者がセミナーの中で行うこと

- 開拓精神をもつことは、研究者であることの根本的な側面であり、また研究者の生涯のキャリアに対する志にとって極めて重要な側面であることを理解する
- Vitaeの研究者開発フレームワーク（RDF）、キャリアストーリー、ケーススタディなどの説明ツールを活用する
- 自分のキャリアに対して責任をもつよう促される

#### 学習成果

セミナー終了までに参加者ができるようになること

- 自分の研究環境における開拓精神のある行動を認識する
- 自分の行動に開拓精神があることの証拠を示す
- 組織内起業の取り組みをすることで、自分の属する組織に付加価値を与える
- 自分のキャリア開発においてさらに開拓精神をもつ
- 開拓精神に富んだ自分のアクションプランを作成する

#### セミナーの概略

時刻	セッション	詳細
09:30 – 10:00	歓迎のあいさつと紹介、セッションのねらい	ファシリテーターの紹介と経験的学習プロセスの説明。
10:00 – 10:45	開拓精神とはどんなものか	開拓精神、起業家精神、組織内起業の考え方を紹介。開拓精神の価値についてグループ・ディスカッションとブレインストーミング。
	交流のための休憩時間	
11:15 – 11:45	開拓精神のある研究者とはどういうものか	Vitae 研究者開発フレームワーク（RDF）および各種レンズ（開拓精神、組織内起業、リーダーシップ）を用いて、開拓精神と研究の関連性を掘り下げる。
11:45 – 12:30	自分にはどれくらいの開拓精神があるのか	RDF カードと各種レンズを用いたグループ活動。
	昼食	
13:30 – 15:30	自分の所属する組織にどのようにして付加価値を与えられるか	学術分野や非学術分野での組織内起業にまつわるシナリオを用いたグループ活動。
	休憩時間	
16:00 –	自分のキャリアの中でどのような	キャリアにおいて（就職活動のプロセスから企業

16:30	に開拓精神をもてるのか	で働く段階まで)、また自分自身のためにどのように開拓精神をもてるのかという例を紹介。
16:30 – 17:00	次にすべきこと	この日に学んだことを基に各参加者がじっくり考え、アクションプランを作成する。